

課長：小学校の方が多。数字には出ないが、質的な状況としては、マネから始まって、
活発にコミュニケーション活動している状況が学校訪問でも見受けられる。

委員：英語は派遣契約だが、欠勤とかはないか。

課長：欠勤の場合は代替の ALT を派遣する契約だが、若干、中学校の方でそれが滞ったこ
とがあった。来年はプロポーザルで業者を選定し、複数年で契約したいと考えている。

委員：金額的なものよりも中身では。安ければいいというものでもない。

課長：安いと業者の方も労務管理とか。

委員：安いと社員教育に時間をかかれない。市民の求めるものによろしく願います。

委員：先生も英語がうまくなったか。

課長：小学校の先生方は、研修を積んでいるので、指導の力量は上がってきていると思う。

委員：ALT の質は大丈夫か。全国でこのようなことやっているの、人が足りないのでは。

課長：外国人の方もよりよい労働条件を求めて、すぐに会社を変えて、人がチェンジした
こともあった。なるべくそうならないようにしたい。

委員：著作権の使用料を支払っているが、内容は。

課長：オンライン学習する際には全国一律で「授業目的公衆送信補償金制度」というのが
あり、SARTRAS という団体に補償金を払うことで、教育に関するものは、この SARTRAS
が代わりに手続きをする。

委員：部活動の地域指導員制度について、部活動の先生の負担軽減とかも含めて、どのよ
うな考えか。

課長：先生の負担を軽減するためには、外部の先生を導入したり、来年度予算でも部活動
支援指導員という先生に代わって指導や引率もできる方を確保するための予算を要求
している。そういった方を順次増やしていく。課題として人材の確保がある。

次長：令和5年～7年で地域に移行していくというのが国の考え。市でも協議会を立ち上
げて、方向性を決めていくことを計画している。